

2016年2月23日

各位

阪和興業株式会社  
お問い合わせ先：秘書室長 石丸 隆夫  
(電話：03-3544-2000)

### 東日本における当社の倉庫戦略について

当社は、2016年2月23日開催の取締役会において、当社の主要物流倉庫である阪和流通センター東京株式会社（以下、HRC東京といいます。）の土地及び建物の一部を売却する旨が決議されたことを受けて、東京証券取引所にこの旨を適時開示したところです。これを受けて、東日本における当社の倉庫戦略の概要についてご説明申し上げます。

当社における従来の倉庫戦略は、大型倉庫による在庫ダム機能と加工機能を強化することを一貫して進めてきました。東日本の中心拠点は、1988年に操業を開始したHRC東京（千葉県習志野市）で、敷地面積125,260平方メートル、保管能力15万トンという有数の大規模倉庫です。また、千葉県船橋市に加工機能を備える30,834平方メートルの工場も有しております。

日本経済が順調に成長・拡大した時期には、大型倉庫によるダム機能が当社の鉄鋼流通には非常に重要でした。しかし、鉄鋼メーカーによる直送による商流が主流になる中で、当社が推進する「そこか」（即納・小口・加工）戦略を推進するために、首都圏を中心とする一大市場における倉庫の再配置について、検討した結果、HRC東京の能力の縮小と同時に、需要地に隣接した群馬県伊勢崎市に建材を中心とした加工機能を持つ倉庫（以下、北関東加工・流通拠点という）を取得しますので、その旨をご報告申し上げます。

#### （1）HRC東京

過大になっている倉庫機能と一部加工機能を集約し、機能の最適化を図りますが、すでに子会社化した株式会社ダイサンが千葉県浦安市に保有する2カ所の倉庫とのシナジーを発揮し、首都圏・北関東の需要に従来以上に機敏にお応えできる体制を構築してまいります。

#### （2）北関東加工・流通拠点

本年3月を目途に26,700平方メートルの土地を取得し、2017年9月の本格稼働を目標に倉庫・加工設備の建設に入る予定です。

第1期工事の予定は次のとおりです。

##### ① コラムの加工・在庫

HRC東京からコラム切断・開先加工を移管する予定です

##### ② 形鋼の在庫機能

北関東におけるお取引先との強固なアライアンス構築により、形鋼の在庫を充実させ、首都圏・北関東の形鋼需要に積極的に対応してまいります。

第2期工事については、加工機能の更なる充実を予定しております。

以上